

## 栃木県教育委員会定例会会議録

平成29年7月5日(水)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席者（教育長及び委員）は次のとおりである。

1 番（教育長）	宇 田 貞 夫
2 番	伏 木 由 佳 子
3 番	工 藤 敬 子
4 番	陣 内 雄 次
5 番	岡 直 樹（遅参）
6 番	吉 澤 慎 太 郎

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	松 崎 禎 彦
教 育 次 長	池 田 聖
参事（高校再編推進担当）	丹 羽 章 泰
総合教育センター所長	軽 部 幸 治
総 務 課 長	熊 倉 精 介
施 設 課 長	坂 入 武 司
教 職 員 課 長	大 島 政 春
学 校 教 育 課 長	中 村 千 浩
特 別 支 援 教 育 室 長	中 田 誠
生 涯 学 習 課 長	鈴 木 惠 治
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	田 代 哲 郎
文 化 財 課 長	平 野 裕
健 康 福 利 課 長	野 原 正 祥
総 務 主 幹	伊 澤 純 一
人 権 教 育 室 長	関 口 哲 夫
児 童 生 徒 指 導 推 進 室 長	伊 澤 雅 幸
学 力 向 上 推 進 室 長	齊 藤 正 幸
競 技 力 向 上 対 策 室 長	岡 田 雅 人
世 界 遺 産 登 録 推 進 室 長	佐 藤 光 正

3 午後1時07分、教育長及び委員は全員出席しており、委員会は成立したので、教育長は定例会を開催する旨を告げた。

4 教育長は、本日の会議録署名委員に6番吉澤委員を指名した。

5 教育長は、本日の議案等のうち、第1号議案、第2号議案及び第4号議案から第7号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨を諮ったところ、全出席者の賛成により非公開とすることに決定した。

6 教育長は、報告を受ける旨を告げた。

## 7 報告

(1) 平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会第一次報告書について  
教育長から説明を求められ、管理次長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

### 〔委員〕

- ・ 報告書をまとめていただき、経過を見ると、春山安全登山講習会の当初の目的からだんだんずれていったということがとても大きな問題だと思う。準備を万端にして、何事も起きないことが最善であるが、安全だという過信により、保護者の連絡網の不備など、色々なところで緩みが生じたと思う。危険だからということで、ラッセル訓練に切り替えたわけだが、自然の変化に合わせるということは、最悪のことを想定しながら企画しないといけないと思う。
- ・ 人間の心理として、山などの自然に挑戦している時は、もう少し頑張りたい、達成したいというほうに行きがちだと思うので、これから危機管理マニュアルを作っていく上で、冷静に見る目が必要だと感じている。

### 〔委員〕

- ・ 中間報告が出てきたが、当たり前前かが当たり前前かされてなかったと感じた。危機管理の意識の欠如というのが現れている。以前起きた雪崩に関しても同様である。
- ・ 子どもたちを預かっているという観点から、登山に限らず、すべての学校内の活動において危機管理というものをしっかりと捉え、きちんと対応できる危機管理マニュアルを作成しなくてはならない。
- ・ 報道等を見ていると、保護者、家族、親族の皆さんがいまだ納得されていないというのが発言の随所に現れている。保護者の皆様方がきちんと納得できるような報告書が上がってくることを期待する。

### 〔教育長〕

- ・ 第一次報告ということで、これまで分かったことを中心にまとめていただいた。まだまだ検証は続くので、今後、御遺族の方々、関係者の方々が納得できるような報告書になるよう、教育委員会も誠心誠意、検証委員会に対応していきたいと考えている。

(2) 平成29年度中学校等卒業者の進路状況調査報告書について

(3) 平成29年度県立高等学校等卒業者の進路状況調査報告書について

教育長は、関連があるので報告2及び報告3について、一括して説明を受ける旨を告げた。

教育長から説明を求められ、総合教育センター所長及び特別支援教育室長が説明した。

この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

### 〔委員〕

- ・ 中学校の卒業者の進学のところ、私の娘はその他の者に入っていると思われるが、これから中学校を卒業して、例えば海外の高校へ進学する人も私の周りには結構いる。今、統計としては、県内県外という枠だけだが、これからは英語教育やグローバル教育を意識した方たちが、海外への進学を選択するという可能性も出てくるのではないかと思うので、そういう枠も加えていく必要があると思う。
- ・ また、高校から大学への進学も、日本の大学を選ばない生徒も増えてくると思うので、統計を一緒にするのではなく、そういう動向も今後は見ていく必要があるのではないかと思う。

〔事務局〕

- ・ この調査については、学校基本調査などとリンクしており、その検証等については間違いのない数字を出しているが、今後、状況等を見極めながら、考えさせていただきたい。

- (4) 平成29年度とちぎっ子学習状況調査の結果(速報)について  
教育長から説明を求められ、学力向上推進室長が説明した。  
この報告に関して、出席者から次のような質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 平均正答率については、今後、「思考・判断・表現」がかなり重要になってくると思われるが、いずれの教科も平均正答率が上がってはいない。これは問題の傾向が違っているという理解でよいか。

〔事務局〕

- ・ 以前から比べると、記述式、短答式といった問題の数を増やしている。また、国語については、昨年度から、正答の条件が3つある場合にはそれらを全部満たしていないと正答ではないというように、国の調査に合わせて採点を行っている。

- 8 教育長は、一部順番を入れ替え、審議に移る旨を告げた。
- 9 第3号議案 第二期県立高校再編計画(案)について  
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。  
この議案に関して、出席者から次のとおり質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 普通科の学級数については、実施期間の30年度から34年度までの間に16減を図るという考えでよろしいか。

〔事務局〕

- ・ お見込みのとおりである。

- 10 教育長は、第1号議案、第2号議案及び第4号議案から第7号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。

- 11 第1号議案 栃木県立美術館評議員会委員の任命について  
第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 12 第2号議案 栃木県立博物館協議会委員の任命について  
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 13 第4号議案 栃木県産業教育審議会委員の任命について  
第4号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 14 第5号議案 栃木県社会教育委員の委嘱について  
第5号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 15 第6号議案 栃木県立図書館協議会委員の任命について  
第6号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 16 第7号議案 栃木県スポーツ推進審議会委員の任命について  
第7号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 17 教育長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午後2時38分、閉会した。